

1. 経営理念 「信じて挑戦！～なりたい自分づくり～」
 2. 教育目標 「共生・自立・創造する力を身につけ、将来社会に貢献できる人材の育成」
 3. 校訓 和して学ばん（共生） 汗して生きん（自立） 創造の力みがかん（創造）
 4. 目指す生徒の姿
「やさしく・つよく・しなやかに、自分と仲間を信じて挑戦できる生徒」
 - ・共生：お互いの考え方や価値観を尊重し、理解し助け合おうとする姿。→やさしく
 - ・自立：自分がやりたいことを見つけ、自分の意志で取り組もうとする姿。→つよく
 - ・創造：答えのない問い合わせに向かい、新しいものを自分たちで創りだす姿。→しなやかに
 5. 教育成果を高める教職員組織の在り方
「心でつながる明るくて温かい教師集団～同僚性 向上心 教職の尊厳 をいつも心に～」
 - ・目指す姿を共有し、主体的・組織的に協力・協働の精神で職務を果たす。
 - ・謙虚に学び続ける姿勢で、学校づくりに貢献する。
 - ・一人一人の生徒を大切にし、るべき姿や進むべき方向を見失うことがないようにする。
 6. 目標実現のための具体的な手立て
- (1) 組織的な学校運営 <ベクトルを一つに>
 - ①「一点突破」生徒が誇れる姿の具現化のため、職員全員が参画意識を持ち、主体的に学校づくりに取り組める組織体制を構築する。
 - ②主任等を中心に、同僚性・専門性を活かし協働する中で、教員の資質・能力の向上を図る。
 - ③機能的・協働的な組織づくりと自身の働き方の見直しにより、多忙化改善の取組を推進する。
 - ④安全に関する教職員研修を推進し、危機対応能力の向上を図る。
 - (2) 学びの力の育成 <授業が変われば、生徒が変わる>
 - ①期待する生徒の姿、目指す授業の姿を明確化し、今求められる力を育むための授業の在り方を追究する。
 - ②校内研修会の充実と教科部会の活性化、校内OJTの活用により、実践的学校研究を推進する。
 - ③授業に活きる家庭学習の在り方を模索し、学習習慣の定着を図る。
 - ④GIGAスクール構想実現に向けた校内研修の充実を図り、新たな授業づくりを推進する。
 - (3) 豊かな人間性の育成 <主役は生徒>
 - ①生徒が主体となる活動を活性化し、生徒の可能性を信じ、認め、引き出す場の設定と仕掛けを準備する。
 - ②特別な教科道徳の充実を図ると共に、「心のテーマ」を共有し、「よりよく生きる力」の基盤を育成する。
 - (4) 健やかな心身の育成 <一人を大事に>
 - ①目的意識を持たせ、心身の発達にふさわしい活力ある部活動運営に努める。
 - ②個別に配慮を必要とする生徒に対し、保護者や関係機関と連携し、思いに寄り添った指導に努める。
 - ③ネット環境下でのゲーム等への関わり方も含め、より良い生活習慣の定着を図る。
 - (5) 家庭・地域との連携 <発信して巻き込む>
 - ①学校運営協議会を設置し、地域との連携・協働を推進し「地域とともにある学校づくり」を進める。
 - ②地域・社会に目を向け、自己探求活動の系統化を図り、誇りある生き方を求める態度を育成する。
 - ③各種たよりやHP等を通して、保護者や地域への情報提供に努める。
 - ④保護者・地域と連携し、交通ルールやマナーを守る意識を高める。